

事務事業名		定住対策促進事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課		
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	うんなん暮らし推進グループ	課長名	奥田 清		
	施策名	〈02〉移住・交流の推進		担当者名	江角祐哉	電話番号	0854-40-1014 (内線) 3514		
	目的	対象	市外の人・市民	意図	雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。				
	基本事業名	〈006〉移住のための相談・支援体制の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	定住対策促進事業
目的	対象	市外の人・市民	意図	安心して移住・定住してもらう。			中事業	中事業名	定住対策促進事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 定住相談の総合窓口として3名の定住推進員を配置し、空き家等の住居情報の提供や就業・就農支援、定住後の生活サポートなどを行う。また、若いUターン人材を移住支援コーディネーターとして配置し、移住者のネットワーク化を図るとともに、若い世代の移住定住に向けた情報発信を行う。 情報発信については、定住情報サイト「ほっこり雲南」により子育て世代に向けた発信を行うとともに、東京・大阪・広島での定住相談イベントへ参加し、雲南市の定住支援情報を発信している。 また、都市の仕事を田舎でもできる場、若者チャレンジの場として、空き家を活用したシェアオフィスを設置した。(ふるさと定住推進協議会補助事業)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・定住相談への対応(住居情報の提供、就業就農支援、定住後のフォロー) ・空き家バンクの運営 ・雲南市不動産協会との連携 ・農地つき空き家活用制度の運用 ・定住支援情報の発信(定住サイトの運営) ・定住フェアイベントへの参加 ・雲南暮らし体験プログラムの実施、シェアオフィス三日市ラボの設置(ふるさと定住推進協議会)	27年度計画(27年度に計画する主な活動) ・移住定住支援スタッフを2名増員し、移住定住相談者への支援強化を図る。 ・空き家バンクの運営、空き家片づけ補助金の交付、雲南市不動産協会との連携 ・農地つき空き家活用制度の運用 ・定住支援情報の発信(定住サイトの更新、運営) ・定住フェアイベントの参加 ・雲南暮らし体験プログラムの実施、シェアオフィス三日市ラボのオープン			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
ア	相談件数	件	176	185	212	180
イ	空き家調査数	件	31	28	32	40
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	・本市へ移住を考えている人 ・市内で移転先を考えている人 ・空き家の活用を考えている人	ア 相談件数	件	176	185	212	180
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
・雲南市へ定住してもらう ・空き家を定住者用住宅として活用してもらう	イ 空き家バンク登録数(年度増加数)	件	20	10	23	25	
	ア 定住された人数	人	90	76	87	94	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
・報酬 6,120千円(定住推進員3名分) ・旅費 1,426千円(費用弁償、普通旅費) ・需用費 62千円(消耗品) ・役員費 161千円(推進員携帯電話料他) ・委託料 2,320千円(移住交流促進および情報発信、移住支援コーディネーター委託) ・使用料 410千円(定住サイトサーバー使用料) ・補助金 3,630千円(雲南市ふるさと定住推進協議会、シェアオフィス調査研究プロジェクト)	財源内訳	千円				10,551
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円	2,000	2,100	2,050	
	地方債	千円	7,200	7,900	7,900	11,000
	その他	千円	1,500	1,700	3,900	2,000
	一般財源	千円	15	41	279	16
	事業費計(A)	千円	10,715	11,741	14,129	23,567
	人件費	人	4	4	2	
	正規職員従事人数	時間	1,073	1,090	960	
	延べ業務時間	千円	4,204	4,243	3,732	
	人件費計(B)	千円	14,919	15,984	17,861	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化(この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望(この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
田舎暮らしを希望する都会のUターン希望者が増加しており、相談件数も年々増加している。また、高齢化が進む集落が増加しており、後継者対策が喫緊の課題となっている。	関係部局・団体との連携強化を図るため、人口の社会増の推進体制を構築するとともに、定期的に担当者レベルの会議を行い情報共有に努めている。 子育て世代などの若い世代に向けた情報発信を強化している。	定住相談のワンストップ窓口として対応していることから、移住・定住希望者に喜ばれており、実績も上がっている。 人口の社会増を目指すにあたり、更なる事業展開を求められている。

事務事業名	定住対策促進事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	----------	-----	-------	-----	------------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 地域自主組織と連携し空き家ストックの確保を図るとともに、各部署と連携し移住者等の支援の充実を図る。 積極的な移住定住に向けた情報発信を行うとともに、UIターンフェア等の参加回数を増加する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	理由 人口減少、特に人口の社会減がさらに進むとともに空き家が増加し、地域の活力が衰退する。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		理由 現状以外他に事業がない。
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 第2次雲南市総合計画において、人口の社会増を最優先の課題として取り組む。大胆な施策を進めることにより成果の向上を目指すため、事業費の削減は難しい。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 相談件数が増えている上、空き家や農地など移住者のニーズも多様化しており、休日も含め即時対応している。要望に対応できる空き家等の情報収集・調査についても、きめ細やかな数多く対応できるよう平成27年度に移住定住対応スタッフの増員を行う。
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 移住定住相談者には全て平等に対応している。空き家についても、広く活用の呼びかけを行っている。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	定住推進員によるきめ細やかな対応により、移住・定住実績が上がっている。空き家活用ニーズが増加しており、地域自主組織等と連携し、物件の確保に努めていく必要がある。 また、就業就農情報や子育て情報を求められるケースが増えており、産業振興部及び子ども政策局と連携し対応していく必要がある。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>移住定住対応スタッフを増員配置し、移住・定住希望者にきめ細かい対応を図る。 空き家活用について、地域自主組織等と連携し物件確保に努め、空き家バンク物件の有効活用を図る。</p> <p>市役所各部署と連携し、就業就農支援・子育て教育支援、住居支援の充実にも努めるとともに、定住サイト・SNSによる情報発信及び都市圏で開催される定住フェアにおいて、移住希望者へ情報提供や相談を行いUIターンを促進する。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																		